～わっしょい みんなでかつごう いちのせき～

いちのせき協働ニュース

輪っしょい！

2013年8月 vol.1

川崎まちづくり協議会を紹介します！

川崎まちづくり協議会

住所：一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1
（川崎公民館内）
電話：0191-43-3112

みんなで地域づくりを考える

合併して5年、地域はどう変わり、どう進んだか。以前の良き伝統は守られているだろうか。広域的なまちづくりは進んでいるものの、地域自治区制度の廃止などにより、地域を守り育て発展させる方策や将来像などを話し合う場が少なくなったのではないか。地域の将来を話し合う組織がないと一般的な報道や世論の中に埋没し、単なる評論者になってしまわないか等、元気な地域づくり事業を進める議論の中でみんなが考えるようになりました。

考え、話し合う場

自分達で地域の将来を考え、話し合う場を作ることを目的に、川崎まちづくり協議会設立の機運が高まり川崎全域から参加者を募集したところ、当初20人位の予想が37人の入会希望があり、関心の深さに驚きました。平成23年3月1日に川崎公民館において設立総会を開催し、現在に至っております。議会では全体会に提案する協議案作り、全体会では提案に対する質問や意見、提言を話し合っています。

「輝く笑顔でみんな幸せ」なまちを目指して

地域のまちづくりの目標と将来像について「川崎まちづくりビジョン」としてまとめました。協議会では定期的にビジョンに掲げる活動状況の調査を行い、問題点を話し合い、事業提案やビジョンの見直しを行いながら、輝く笑顔でみんな幸せな川崎町のまちづくりを進めていきます。

また、協議会では地域の課題をテーマに、常に話し合いを継続していきたいと考えています。

わ輪っしょい！

憩いの場「若日庵（じゃくびあん）」

住所：一関市花泉町日形字井戸沢38-2
若日庵は日形公民館より徒歩1分程度（字井戸沢地内）にあります
電話：0191-36-1236（日形公民館内）

今年5月に移動市長室で「若日庵」を訪れた勝部市長（写真中央）と若日庵参加者

団体の特徴

平成24年度いちのせき元気な地域づくり事業で地域住民の憩いの場を作るために転作田を借りてビニールハウスを設置しました。みんなで集まり活動していくことで、いつまでも若い気持ちを忘れないという思いから「若日庵」という名を付けました。

花卉（かき）の栽培が主な活動ですが、それだけでなく、花卉の栽培・管理をきっかけに集まり、談話や軽スポーツなどの活動を精力的に行っています。

きっかけ

日形地区にはほとんどの集落に老人クラブがないため、高齢者が集い、活動する機会がなかなかありませんでした。そこで、地区住民の皆様の要望を参考として、花卉の栽培を中心とした地区民の交流の場「若日庵」を作ろうということになりました。

成果

- 日形小学校の児童と高齢者の世代間交流が図られました。
- 高齢者間の交流の機会が増大しました。（平成24年度参加延べ人数375人）
- 花泉支所、図書館、日形小学校等へ栽培した花を飾り、環境美化に努めました。
- 活動拠点（若日庵）から離れた地域に住んでいる方々も関心を持つようになってきました。

課題と今後の展望

課題は活動拠点（若日庵）から離れた地域の人がせっかく関心を持っても、交通手段がないためなかなか参加しづらいというところです。

日形地区内の複数の場所に「若日庵」のような交流スペースを設置し、もっと身近で気軽に参加してもらえるようにして、より多くの地区内の高齢者が交流することで、高齢者から日形を元気な地域にしていきたいです。

わ輪っしょい！

千厩地区まちづくり協議会

住所：一関市千厩町千厩字舘山50
電話：0191-52-2309（千厩公民館内）

7月15日に開催したまちづくり講演会

団体の特徴

各団体組織の長または代表など79組織が構成員となり、平成17年8月9日に設立しました。

主な活動は千厩地区民祭、千厩地区民運動会など千厩地域の行事の実施。そのほか、地区の学習活動を行う「21世紀塾」などを行っています。

千厩地区まちづくり協議会の今年度の活動として地域協働体としての学習活動、視察などを企画しています。

7月15日には、きらりよしじまネットワークの事務局長高橋由和氏を講師に「独立国宣言　きらりよしじまの実践」と題してまちづくり講演会を開催しました。（きらりよしじまネットワークとは山形県東置賜郡川西町の全世帯会員のNPO法人）

このNPOの組織は、公民館の指定管理の話が出た時に、地域おこしのきっかけとするために誕生した組織で、まさにまちづくり協議会の目指す活動を実践しているところであり、活動だけでなく「自分たちの地域は自分たちで整えよう」とする意気込みもぜひ見習いたいところです。

参加者は、高橋氏の話にとにかく納得している様子。私たちが常に感じている地域づくりの悩みや苦労について、身近なことから解決する方法や、ちょっとした切り替えで、新しいものが生まれることなど、熱心に聴き入っていました。

秋には同NPOを訪問し、研修を深める予定となっています。

わ 輪っしょい!

ひがしやまジュニアリーダーズクラブ“ハピクロ”

住所：一関市東山町長坂字西本町105-1
電話：0191-47-4544
（東山支所教育文化課内）

調理体験の手順を確認するジュニアリーダー

団体の特徴

いちのせき元気な地域づくり事業「ひがしやま未来へかける橋事業」の一環として、平成24年6月に設立。

東山地域の中高生16人で活動しています。

“ハピクロ”のネーミングは、幸せを呼ぶ四つ葉のクローバー“ハッピークローバー”を略したもの。

親子を対象にした“バルーンアート”の指導や、子ども教室の体験活動“笑星's”（わらすたず）の企画立案、運営など、多彩な活動を行っています。

ひがしやまジュニアリーダーズクラブ“ハピクロ”は、夏休み中の小学生に向けたイベント「子ども体験教室“笑星's”（わらすたず）」の成功を祈り、チャレンジ・ジュニアリーダー研修会を開催しました。

午前中の研修では、当日行うゲーム・レクリエーションを実際に体験しながら、ルールの確認や説明の仕方について研修し、その後の調理体験では、長坂地域婦人会員の協力をいただき、調理の手順や子どもたちへの教え方を学びました。

昼食は、午前の研修で作った「お好み焼き」を食べながら、食材の量や味付けなどについてアドバイスをいただきました。

午後からは、川遊びや工作研修などについて、子どもたちに危険なところはないか、内容が難しすぎないかなどを確認しました。

研修会の最後には、当日の進め方や役割分担を確認し、この企画研修会で気づいた反省点をどう改善するかなどを話し合いました。

ハピクロを指導している教育文化課社会教育指導員の佐々木さんは「自分自身の成長のためにという意識を持ち、自分の役割を果たすこと、自分で考えて行動することができるように活動して欲しい」と話していました。

冬休みには、雪あそびや工作などを行うイベントも企画しています。

わ 輪っしょい!

藤沢町自治会協議会

住所：一関市藤沢町藤沢字町裏187
電話：0191-63-2111（藤沢支所地域振興課内）

今年4月に開催した自治会と行政との連絡会議

団体の特徴

昭和46年、藤沢町は「住民主体のまちづくり」を町政の最重要課題として位置づけ、地域毎に町政座談会を開催し、共通理解を深めました。また、地域再生のための推進母体として「自治会」の結成を目指し、「自分達の地域は自分達でつくる」という自治意識の高揚を推進し、昭和50年3月20日、自治会の連絡、協調の機関として「藤沢町自治会連絡協議会」を設立、現在の藤沢町自治会協議会の基となりました。

本協議会設立当時の自治会数は21自治会（現在43自治会）であり、各自治会2名の代表により構成され、「みんなの藤沢みんなでつくろう」を合言葉に「住民主体のまちづくり」の取り組みが始まりました。

地域づくりや、行政施策について意見を出し合う「自治会と行政との連絡会議」を毎年開催。また、自治会組織運営等研修会、藤沢町自治大学を開催し、組織運営、地域自治のあり方、まちづくりの方向性についての学習も行った。この学習は、現在の自治会活動の礎となっています。

昭和63年度から快適な生活環境の実現を図るため、藤沢町一円を対象としたビューティフル藤沢整備事業を実施し、コミュニティ花壇やフラワーロードに取り組んでいます。さらにこの事業の一環として、平成4年度からリサイクル品の集団回収事業、平成5年度からは河川や道路のクリーンアップ一斉清掃事業を展開しています。

また、各自治会長等を対象とした東北6県各地のコミュニティ活動先進事例を学ぶ先進地視察研修を年1回行っています。

平成13年度からは、行政と住民の情報共有を目的とした「まちづくり勉強会」も開催しました。

最近では、ILC誘致に向けた講演会や「協働のまちづくり」に向けた意見交換会を開催するなど協働のまちづくりについての話し合いを進めています。

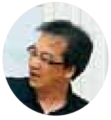
いちのせき市民活動センター

NPO・行政・企業・地域の情報発信によりアイデアと出会いの機会を創ります

いちのせき市民活動センターは平成20年に市民活動の拠点として開設され、市民団体や地域コミュニティ、"地域のために何かしたい"という皆さんの活動を応援しています。今年度からは特に、市の「協働のまちづくり」推進にあたり、市と住民の皆さんの間に入り、それぞれの地域に合った"協働"のあり方を、考え、構築し、実践していくためのサポートに力を入れています。

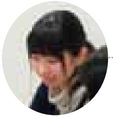
いちのせき

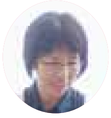
住所：一関市大町4-29　なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400／FAX：0191-26-6415


センター長
小野　仁志

副センター長
小野寺　浩樹

一関担当
（狐禅寺・一関・舞川）
一関主任
畠山　信禎


一関担当
（山目・中里・弥栄・厳美・萩荘）
金野　尋世


東山担当
千葉　香奈

花泉・川崎担当
狩野　幹夫

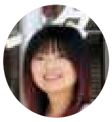
■ 私たちが協働のまちづくりをサポートいたします ■

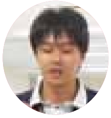
いちのせき市民活動センターは「なのはなプラザ」4階と、千厩・本町の「せんまやサテライト」の2か所にセンターを構えています。旧8市町村ごとに専任スタッフを設けており、各地域担当スタッフが、当該地域の地域活動や協働のまちづくりに関する取り組みをサポートしています。

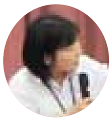
せんまやサテライト

住所：千厩町千厩字町149
電話：0191-48-3735／FAX：0191-48-3736

東全地域担当
千厩主任
佐々木　牧恵


大東担当
千葉　歩


千厩・藤沢担当
佐藤　大輔


室根・東山担当
鈴木　ひろみ

いちのせき市民活動センター
HP：http://www.center-i.org/
メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp

センター長の一言日記

一関市は、平成23年に藤沢町が合併し、8市町村が1市として、新たな一歩を踏み出しました。協働アクションプランを策定し、地域説明会や懇談会は行っているものの、まだまだ市民一人ひとりに伝わっていない現状があります。地域協働は、まちづくりの手法でありゴールではないこと、地域協働体は新たな組織をつくることではなく、地域住民が課題解決のために継続的な話し合いをする場であることなどすべてが住みよい地域を育くむためのプロセスです。地域によって様々な条件があり、全地域平等にすることはできません。背景や特色を活かした地域協働を築いていく必要があります。

用語解説　協働とは？

協働とは、「協働の主体である市民組織、企業、行政がお互いの立場を尊重し、公共的、公益的な活動を継続的な話し合いと合意により、協力して行動すること」を言います。

いちのせき協働ニュース 輪っしょい! について

一関市は、市民の皆さんに「協働」について理解を深めていただくため、この度協働ニュース「輪っしょい」を発行しました。今後も、協働のまちづくりに向けた地域の様々な取り組みを発信していきます！

2013年8月号　発行　岩手県一関市　市民環境部協働推進課
〒021-8501　岩手県一関市竹山町7番2号　tel.0191-21-2111
HP http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/